

すぐに役立つ暮らしの健康情報——

こんにちわ

2020年 4月号



幸いに感染しても八割は軽症のまま経過し治癒することも分かつており、症状が軽くても仕事、学校は休み、自宅療養してかかりつけ医と電話連絡していくとよいでしょう。

令和二年四月
院長 医学博士 前田 正博

【発行】 医療法人 社団永楽会

前田病院

理事長・院長 前田正博

⑧730-0051 広島県呉市中央2丁目6-20

TEL 0823 (25) 2600

<http://www.hospital-maeda.jp/>

■診療科目 内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科

血液内科・放射線診断科・リハビリ科・歯科

■診療時間 午前9時～12時30分 午後2時～6時

●休診日 木曜、土曜の午後及び日曜・祝日

新型コロナウイルス感染症はパンデミックとなり、我が国でも今後更なる感染の拡大が予測され、東京オリンピック・パラリンピックの開催が危ぶまれております。

我が国では今のところ発症早期の段階とされ、有病率が低いことから検査で陽性と判定される数よりも検査特異性によつて生じる偽陽性例数のほうが多いとされています。そのため感染していない偽陽性者が入院あるいは隔離されうることから、強い症状で入院が必要な症例に限定し行政検査としてPCR検査を行つて病床を有病者に確保している状況です。

しかし、今後感染の更なる拡大が起これば重症者が入院できる病床数には限界があり、治療方法も確立されておらず、また医療従事者においても感染防護具が不十分な現状では感染の危険性が大きく、まさに医療崩壊という事態になりかねません。

パンデミック

